

卒業論文

フィジーにおける IT 教育の関する考察
～アジア・オセアニア地域から見るフィジーの方向性～

The Study of IT Education in Fiji
～Toward a Better IT Environment for Asia and Oceania Region～

提出日

2014 年 1 月 31 日

指導教授

齋藤 正武 准教授

中央大学 商学部 会計学科

学籍番号 10C2132502D

乾 達也

フィジーにおける IT 教育の関する考察
～アジア・オセアニア地域から見るフィジーの方向性～

The Study of IT Education in Fiji
～Toward a Better IT Environment for Asia and Oceania Region～

中央大学 商学部 会計学科
学籍番号 10C2132502D

乾 達也

現代の情報化社会において IT の重要性が大きくなるにつれて次世代を担う IT の人材育成が各国の重要な課題になりつつある。日本やほかの先進国においても IT 人材の育成を加速させており、2000 年に e-Japan 構想を立ち上げたり、2013 年に「世界最先端 IT 国家創造宣言」を発表するなど我が国でも積極的に IT 政策を推し進めている。世界的な IT 化の波は発展途上国、特に資源の少ない国々にとって外貨を獲得する大きなチャンスでもある。世界規模で IT 人材育成の機運が高まっているが、IT 人材育成を成功させるためには国の IT 政策や民間企業の発展、IT 教育の方針などが大きな影響を与える。これらの要因の考慮なしには IT 人材育成は成功しないと言って良い。

そこで、本研究はオセアニア地域の島国であるフィジー共和国を研究対象として、関係が深い近隣 4 か国を定性的に比較・分析した上で、フィジー共和国の人材育成に必要な 1)IT 企業（経済牽引力）、2)IT 政策（政策力）、3)IT 教育（教育力）の 3 点について考察を行うこととする。以上を考察した上で、フィジーの IT 環境における強み弱み分析（SWOT 分析）を試みた。

結論として、インド系フィジー人が多いという利点を活用して、インド系の教育をベースに IT 教育を強化し、安い人件費を武器にアウトソーシングを受注することで経済を牽引していくべきだと考察できた。今後の課題としては、限られた文献でしかフィジーの研究をできなかったため、フィジーの実体調査を行い、フィジーの環境に合った IT 人材育成法を模索するべきである。